

観光パンフレットにみる地域鉄道沿線空間のイメージ形成の枠組み

Spatial Image Constructed on Sightseeing Brochures of Japanese Regional Railway

奥山研究室 16M50174 桑原 萌 (KUWABARA, Megumi)

1. 序 全国の都市部周縁地域および山間地や海浜地を走る地域鉄道¹⁾は、沿線の日常生活の移動手段として重要な役割を担ってきたが、近年では沿線の街の地域活性化に寄与する観光資源として注目されており、様々なメディアを通して沿線の魅力が発信されている。こうしたメディアの一つに鉄道会社や複数の沿線自治体による協議会が発行する観光パンフレットがあり、そこには沿線に点在する観光スポットが描かれた路線図および沿線の街の紹介文が掲載され、従来の行政区域の境界を越えた地域鉄道を基軸とする沿線の街の連携が提示されている。本研究では、観光パンフレット上の地図表現と言語表現から、地域鉄道沿線に広がる空間イメージを形成する枠組みの一端を明らかにすることを目的とする。

2. 観光パンフレットの地図にみる沿線空間の構造

資料とした地域鉄道の観光パンフレット²⁾には、図1の分析例のように、路線全体を紹介する〈全域地図〉に加え、路線の一部や路線から離れた観光スポットをトリミングして紹介する〈部分地図(路線内/路線外)〉をあわせて示すものもみられた。このような地図の階層性を、資料ごとの地図の組合せとして整理した(図1下段左)。全域地図には、路線周辺の地形や行政区などの領域、

公園や寺社などの観光要素がイラストや記号により描かれている。本章では、これらの描画表現の形式および路線に対する地図の描画の範囲を検討し、地図にみられる沿線空間の構造を捉える。

2-1. 全域地図の描画形式 まず全域地図の描画形式について、観光要素の具体表現の有無を検討し、イラストや写真を用いて具体的に表現するものと、点や記号などを用いて抽象的に表現するものとして整理した。次に、路線周辺の領域について、地形や行政区分を塗り分けるものを領域表現として捉え、その有無を検討した。これらの組合せより、図2のように空間・要素強調、空間強調、要素強調、路線強調の描画形式を位置付けた。

2-2. 全域地図の描画範囲 次に、全域地図の描画範囲については、路線に対するトリミングの範囲と、観光要素の分布範囲から検討した(図3)。トリミングの範囲は、路線の両端との関係に着目し、路線の端部から先の領域を描かない[端部内]と、端部から先の領域も描く[端部内外]に分類した。[端部内外]には、両端から先を描く両端分布、片方の端部から先を描く片端分布がみられた。観光要素の分布範囲は、路線に対する分布の位置関係に着目し、路線近傍のみに分布する限定分布と、描



図1. 観光パンフレットの構成と全域地図の分析例

画範囲全体に分布する広域分布として分類した。以上より、全域地図における描画範囲をⅠ端部内・限定分布、Ⅱ端部内・広域分布、Ⅲ端部内外・限定分布、Ⅳ端部内外・広域分布、および観光要素が描かれないⅤ端部内・分布なし、Ⅵ端部内外・分布なしとして位置付けた。

2-3. 部分地図の分布形式 さらに、部分地図を有する資料を対象として、路線に対する部分地図の分布形式から、沿線空間の重み付けを検討した(図4)。限られた駅のみの部分地図が分布する局所型と、路線の大半の駅に部分地図が分布し、沿線空間が網羅的に紹介される連続型という大きく2つの形式に分類した。

2-4. 地図表現にみる沿線空間の構造 以上の分析を踏まえ、全域地図の描画範囲のタイプごとに、描画形式および地図の階層性を整理して図5のように示した。それぞれの描画形式をみると、Ⅰは要素強調が多く、Ⅱは空間・要素強調が多くみられるのに対して、Ⅲは空間強調が多く、Ⅳは空間強調および空間・要素強調の表現が同数みられた。これより、端部内を描く地図では観光要素が強調されるものが多く、端部内外を描く地図は路線周辺の領域が強調されるものが多い。さらに分布範囲が広域分布のものは、観光要素および沿線空間の領域を具体的に表現するものが多いという、描画範囲と描画形式の特徴を捉えた。部分地図の有無をみると、Ⅰは全域地図のみの資料が多いのに対して、Ⅱは部分地図(局所型)を有する資料が最も多い。Ⅲは全域地図で路線端部外に観光要素が集中的に描かれるものが多い、Ⅳは全域地図のみのものの割合が高いことが分かった。以上より、Ⅰは路線近傍の観光要素の内容を具体的に紹介するものであり、Ⅱは観光要素の内容の紹介に加え、沿線空間の領域を表現することにより、路線近傍に要素が集中する沿線空間を広域的に描くものである。Ⅲは路線周辺にひろがる領域を具体的に表現するのに対して、Ⅳは領域表現に加え、具体的に表現した観光要素を描画範囲全体に描くことにより広域的な沿線空間を描くという、全域地図の表現形式と沿線空間の構造の関係性を捉えた。

3. 言語表現にみる観光要素の強調内容

観光パンフレットには、地図と併せて鉄道の紹介文などの言語表現が示されている。これらの内容から、観光パンフレットにおいて地域鉄道および沿線空間のどのような側面が魅力として提示されているのかを読み取ることができる。本章ではこれら言語表現の内容と地図における表現との対応を検討する。

	観光要素の 具体表現	具体表現あり 44	具体表現なし 46
沿線空間 の領域表現	観光要素をイラストや写真を用いて 具体的に描画してプロットするもの	観光要素を記号や点で抽象化して プロットするもの	
	イラスト 写真	記号 文字	
領域 表現あり	◎空間・要素強調 沿線空間と 観光要素を 具体的に紹介 するもの	○空間強調 沿線空間のみ を具体的に 描画するもの	
領域 表現なし	●要素強調 沿線の領域が明確に 示されないもの	・路線強調 沿線空間と 観光要素が 具体的に描画 されないもの	
	56	27	29
	34	17	17

図2. 全域地図の描画形式

	観光要素の 分布範囲	限定分布 36	広域分布 41	分布なし 13
路線方向の 描画範囲	路線近傍に要素が集中	路線遠方にも要素が拡散	路線図のみ	
	Ⅰ	Ⅱ		
端部内	終点・始点内を描画	Ⅰ 端部内・限定分布 描画範囲 路線 観光要素	Ⅱ 端部内・広域分布	Ⅴ 端部内・ 分布なし 他路線なし
	54	23	25	6
端部内外	終点・始点内外を描画 両端描画 片端描画	Ⅲ 端部内外・限定分布 両端(5) 片端(8)	Ⅳ 端部内外・広域分布 両端(9) 片端(7)	Ⅵ 端部内外・ 分布なし 他路線あり
	36	13	16	7

図3. 全域地図の描画範囲 (図註: 強調表現のみられる観光要素の分布範囲を検討)

局所型 25	連続型 29
部分地図を持つ駅が路線の一部に集約して分布	部分地図を持つ駅が路線全体に連続して分布
終点駅 f 終点・始点駅 f・s 中間駅 m	全駅 a 一部駅 p
12 5 8	12 14 3
[凡例] ■ 部分地図を持つ駅 ○ 路線	

図4. 路線に対する部分地図(路線内)の分布形式

	Ⅰ 端部内・ 限定分布	Ⅱ 端部内・ 広域分布	Ⅲ 端部内外・ 限定分布	Ⅳ 端部内外・ 広域分布	Ⅴ 端部内・ 分布なし	Ⅵ 端部内外・ 分布なし
◎空間・ 要素強調	1-b - f * 36 - f * 35-b - p 38-a - p 74 - p *	14-2 - 32 - f * 61 - f * 57 - f * 63 - f * 64 - f * 20 - m 35-a - m 6 - a * 39 - a 67 - a 2 - p	65 - 片 58-a - 片 71 - p	19 - 片 34-b - 片 60 - 片 69-b - 片 69-a - 片 66-c - a 66-a - p * 片		
●要素 強調	1-a - 3 - 7-a-2 - 33 - 44 - 73 - 12 - 55 -	26 - 68-a - 21 - f 8-1 - f・s 56 - p	37 - 片 72 - 片	25 - 片 24 - p 片		
○空間 強調	7-a-1 - 51 - f・s * 28 - a * 5 -	38-b - f * 7-b - m 29 - m 47 - m 59 - a 62 - a	53-1 - 片 66-b - 片 34-a - f * 23 - m 10 - p 46 - p	8-2 - 45-1 - 53-2 - 68-b - 52 - f 13 - f・s * 70 - p *	14-1 - a * 58-b - a * 11 - p *	40 - f * 片 18 - p * 48 - p
・路線 強調	4 - 22-1 - 43 - 45-2 - 15 - a * 31 - a	9 - 42 -	22-2 - 16 - f・s		54 - m 49 - a 17 - p	50 - f * 片 27 - m * 片 30 - m 41 - p
	4	2	2	0	3	4

図5. 全域地図における描画範囲と描画形式の関係

(図註: 全域地図を持つ資料が複数ある場合は英字、一つの資料に全域地図が複数ある場合は数字で区別している。)

3-1. 観光パンフレットの言語表現 言語表現に提示される意味内容について、沿線の街や観光スポットを紹介する内容と地域鉄道を紹介する内容に大別して捉えた(表1)。それぞれの内容をみると、沿線の街に関する内容は、車窓から見える山や海、川およびキャンプ場など自然環境の体験を紹介する【自然】が最も多くみられた。【史跡・建築物】は寺社や像などの沿線の街の歴史的側面を示す内容であり、【活動・産業】は街の祭りや産業などを紹介するものである。【商業施設】および【公益施設】の紹介はみられるものの、数は少ない。地域鉄道を紹介する内容は、観光列車や乗務員などの観光を意識した企画や、駅舎や車両の希少性を紹介する【観光・企画】、路線の長さなどの概要を紹介する【路線情報】、地域生活における鉄道の役割を示す【地域生活】、車窓風景などの乗車体験を描写する【移動体験】がみられた。

3-2. 言語表現により強調される観光要素の分布形式

前章で検討した全域地図中の観光要素は、言語表現において重複して提示されるものがみられる。このような観光要素を強調要素として、これらの全域地図における分布を整理した(図6)。強調要素の分布範囲が全域地図の分布範囲全体と一致するものを《全体強調》と、強調要素が特定のエリアに集中するものを《部分強調》に分類した。《部分強調》のうち、特定のスポットが強調要素となるものがみられたため《点強調》として分類し、言語により強調される空間の3つの型を見出した。

4. 地図表現と言語表現にみる地域鉄道沿線空間のイメージ

本章では、2章で位置付けた沿線空間の構造と3章で整理した言語表現の内容および強調要素の分布の関係を検討し、地域鉄道沿線空間のイメージ形成の枠組みの一端を明らかにする(図7)。全域地図の描画範囲ごとにとみると、Iは強調要素がみられないものの割合が最も高

く、それに対してIVは強調要素がみられるものの割合が最も高かった。前者は、図7の分析例 no.55 における鉄道の乗車体験や古い駅舎が紹介されるものように、強調の有無に関係なく地域鉄道そのものの魅力が中心に提示されるものであり、後者は分析例 no.25 における沿線の世界遺産・富岡製糸場が紹介されるものように、沿線の街の観光要素が地図と言語で重複して提示されるという、対照的な性質がみられるものである。

沿線の街に関する強調要素の内容をみると、IIIにおいてのみ複数の内容を強調するものが大半を占めている。これは、分析例 no.46 のように路線近傍および路線端部外まで広がって分布する観光要素のバリエーションの豊かさを言語により強調した上で、路線周辺の領域を表現することにより、多様な観光要素の内容を一つの沿線空間のイメージとして提示するものであるといえる。一方で、I、II、IVでは、単一の内容を強調する資料の割合が高い。これらの内容をみると、IVは沿線の街の観光要素を強調するものが多いが、I、IIは地域鉄道に関する要素を強調するものの割合が大きく、類似した性質を持つものであると考えられる。ここで、強調要素の分布形式をみると、IIは《部分強調》の割合が高く、分析例 no.8-1 で示すもののように、地図では路線から離れた観光要素を描きつつも、言語により特定の観光要素を強調し、それを沿線空間の特徴として提示するものである。

さらに、全域地図や部分地図の他に、地域鉄道へのアクセスを紹介する交通案内地図が50資料にみられ、観光を意識した沿線空間の性質を読み取ることができるため、これらの対象範囲も併せて検討した(図7下段)。I、IIは全国を対象にしたアクセスを紹介するものの割合が相対的に高く、III、IVでは、対象範囲が小さくなる傾向が読み取れた。これは、路線端部の先を描かない沿線空

沿線の街や観光スポットを紹介する内容	地域鉄道を紹介する内容 Tr*
自然 Na 43 資料 山 13, 海・海岸 12, 川 7, 田園 6, 花 5, 公園 3, 渓谷 2, 高原 2 湖 1, 島 1, 生き物 1, 樹木 1, キャンプ場 1 など [全体像 10]	観光・企画 37 資料 観光列車, 駅舎, 鉄道博物館, 乗務員 ・沿線 38 施設が国の登録有形文化財 ・旅人をもてなす秋田美人の「おぼこアテンダント」 ・『七夕列車』『サンタ列車』『バレンタイン列車』も期間限定で運行しています。
史跡・建造物 Hi 25 資料 寺社仏閣 8, 街並み 4, 碑・塚 3, 文化財 2, 大仏 2, 街道 1 教会 1, 古墳 1, 城跡 1, 世界遺産 1 [全体像 6]	路線情報 30 資料 路線の長さ, 時間, 終点・始点駅, 来歴 福島駅から飯坂温泉駅まで 23 分のローカルな旅
活動・産業 Ac 24 資料 食 8, イベント 4, 祭り 4, 産業 4, 交流 2, 風習 1, 人 1 [全体像 2]	地域生活 36 資料 鉄道の愛称, 通勤・通学・観光の足 「しな鉄」と呼ばれ親しまれているしなの鉄道は 通勤・通学の大切な交通手段。
商業施設 Co 11 資料 温泉 6, 商店街 3, 市場 1, 飲食店 1, 物産店 1 など [全体像なし]	移動体験 44 資料 車窓風景, 動作, 雰囲気 「走る田園博物館」里山をのんびり走るローカル線
公益施設 Pu 6 資料 博物館 3, 水族館 2, 記念館 1, 美術館 1, 学校 1 など [全体像なし]	

表 1. 言語表現の意味内容

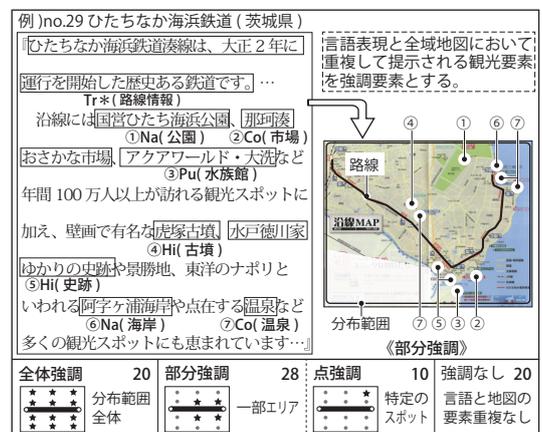


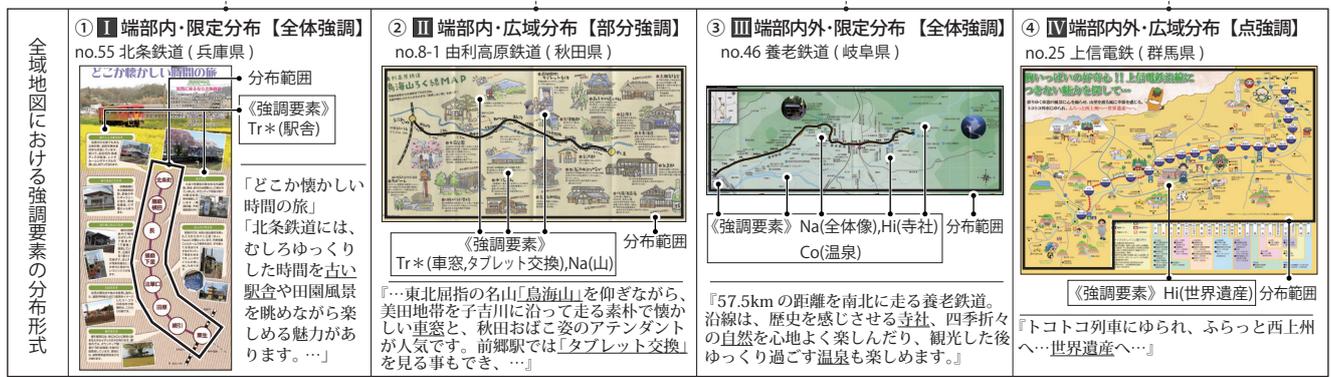
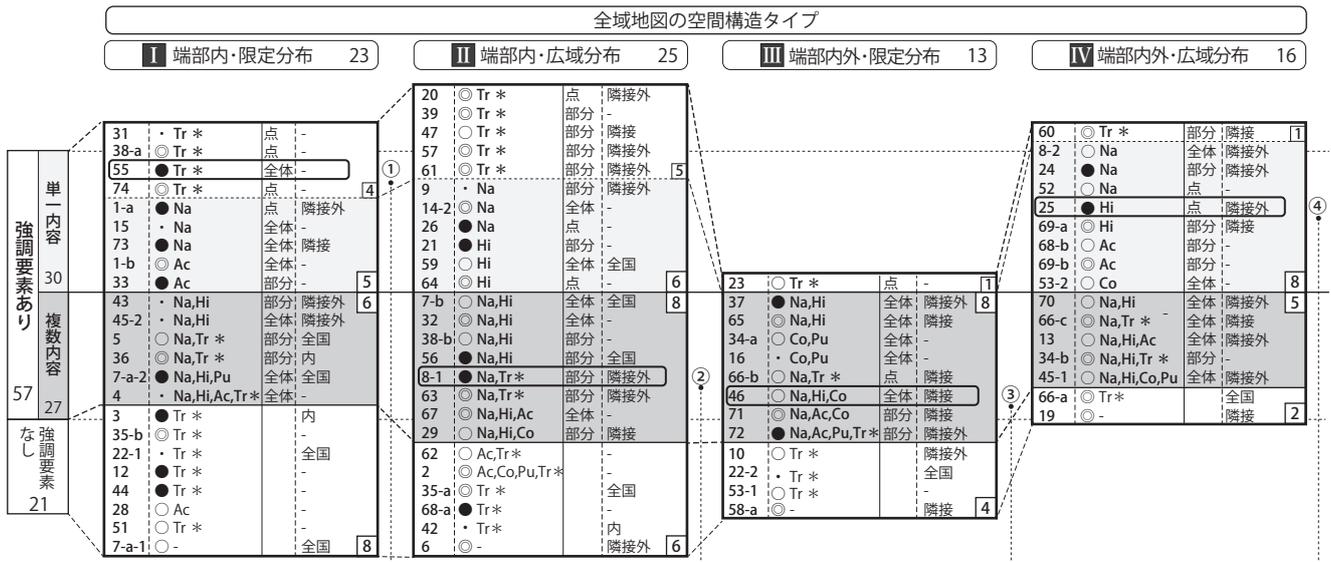
図 6. 強調要素の分布形式の分析例

間を描くⅠ、Ⅱの地図と各地からのアクセスを示す交通案内地図を併せて紹介することにより、結びつけられる地域の広さを強調しているものと推察できる。

5. 結 以上、観光パンフレットに掲載された地図と言語表現から、地域鉄道沿線空間のイメージ形成の枠組みの一端を探った。その結果、地図からは沿線空間の構造と表現形式の特徴を明らかにした。また、地図と言語表現に重複してみられる強調要素を検討することにより、沿線空間のあり方について地域鉄道そのものに依存するものと、沿線の街に依存するものという大きく二つの性

格として捉えた。特に、後者は、言語により地図上の沿線空間が大きく変容する傾向がみられ、路線近傍の要素の多様さを強調するものと、単一の内容を沿線の街の個性として強調するものという、地域鉄道の観光パンフレットにおいて紹介される地域鉄道を中心に連携した沿線空間のイメージの特徴を明らかにした。

注) 1) 国土交通省 HP では「地域鉄道とは、一般に、新幹線、在来幹線、都市鉄道に該当する路線以外の鉄道路線のことを言う。地域鉄道事業者の運行主体は中小民鉄及び第三セクターに分けられる。平成 29 年 4 月 1 日現在で 96 社ある」とされる。また、私鉄の分類は、経営規模に応じて大手民鉄、公営、中小民鉄(第三セクター含む)であり、「鉄道輸送統計調査年報(平成 28 年)」(国土交通省ホームページ、鉄道関係統計ページ)の分類を参照した。2) 本研究では国土交通省の指定する地域鉄道から地方都市内を走る 12 の路面電車を除いた 74 の地域鉄道の観光パンフレットのうち、意味内容が確認できたものを資料とする(表 2)。



凡例	(強調要素あり) 7-b: ○ Na, Hi 全体 全国	(強調要素なし) 62: ○ Ac, Tr* 全体 全国	<p>① 資料番号 ② 沿線空間の表現形式 ③ 強調要素の内容 ④ 強調要素の分布形式 ⑤ 交通案内地図対象範囲</p> <p>交通案内地図の対象範囲</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>内</td><td>沿線道府県内</td></tr> <tr><td>隣接</td><td>沿線道府県隣接</td></tr> <tr><td>隣接外</td><td>沿線道府県隣接外</td></tr> <tr><td>全国</td><td>全国</td></tr> </table> <p>(図注: 強調要素がない場合, ③は言語表現の内容を記載, ④は空欄となる)</p>	内	沿線道府県内	隣接	沿線道府県隣接	隣接外	沿線道府県隣接外	全国	全国
内	沿線道府県内										
隣接	沿線道府県隣接										
隣接外	沿線道府県隣接外										
全国	全国										

図 7 全域地図の沿線空間と強調要素の内容の関係

表 2 地域鉄道リスト

1: 道南いさりび鉄道: 北海道	14: あいの風とやま鉄道: 石川県	27: 関東鉄道: 茨城県	40: 伊豆急行: 静岡県	53: 水間鉄道: 大阪府	66: 土佐くろしお鉄道: 高知県
2: 青い森鉄道: 青森県	15: のと鉄道: 石川県	28: 鹿島臨海鉄道: 茨城県	41: 愛知環状鉄道: 愛知県	54: 神戸電鉄: 兵庫県	67: 平成筑豊鉄道: 福岡県
3: 津軽鉄道: 青森県	16: 北陸鉄道: 石川県	29: ひたちなか海浜鉄道: 茨城県	42: 東海交通事業: 愛知県	55: 北条鉄道: 兵庫県	68: 甘木鉄道: 佐賀県福岡県
4: 弘南鉄道: 青森県	17: IR いしかわ鉄道: 石川県	30: 秩父鉄道: 埼玉県	43: 長良川鉄道: 岐阜県	56: 北条電鐵: 和歌山県	69: 松浦鉄道: 佐賀県長崎県
5: 三陸鉄道: 岩手県	18: しなの鉄道: 長野県	31: 小湊鉄道: 千葉県	44: 樽見鉄道: 岐阜県	57: 紀州鉄道: 和歌山県	70: 島原鉄道: 長崎県
6: IGR いわて銀河鉄道: 岩手県	19: 長野電鉄: 長野県	32: いすみ鉄道: 千葉県	45: 明知鉄道: 岐阜県	58: 智頭急行: 鳥取県岡山県	71: 肥後おれんじ鉄道: 熊本県鹿児島県
7: 秋田内陸縦貫鉄道: 秋田県	20: アルピコ交通: 長野県	33: 銚子電気鉄道: 千葉県	46: 養老鉄道: 三重県岐阜県	59: 一畑電車: 島根県	72: くま川鉄道: 熊本県
8: 由利高原鉄道: 秋田県	21: 上田電鉄: 長野県	34: 江ノ島鉄道: 神奈川県	47: 三岐鉄道: 三重県	60: 若桜鉄道: 鳥取県	73: 南阿蘇鉄道: 熊本県
9: 山形鉄道: 山形県	22: 野岩鉄道: 栃木県福島県	35: 天竜浜名湖鉄道: 静岡県	48: 伊勢鉄道: 三重県	61: 井原鉄道: 岡山県広島県	74: 熊本電気鉄道: 熊本県
10: 会津鉄道: 福島県	23: 真岡鐵道: 栃木県茨城県	36: 大井川鐵道: 静岡県	49: 近江鉄道: 滋賀県	62: 水島臨海鉄道: 岡山県	
11: 阿武隈急行: 福島県宮城県	24: わたらせ溪谷鐵道: 群馬県栃木県	37: 伊豆箱根鉄道: 静岡県	50: 信楽高原鐵道: 滋賀県	63: 錦川鉄道: 山口県	
12: 福島交通: 福島県	25: 上信電鉄: 群馬県	38: 静岡鉄道: 静岡県	51: 京都丹後鉄道: 京都府兵庫県	64: 高松琴平電気鉄道: 香川県	
13: 北越急行: 新潟県	26: 上毛電気鉄道: 群馬県	39: 岳南電車: 静岡県	52: 叡山電鉄: 京都府	65: 阿佐海岸鉄道: 徳島県高知県	

凡例
no: 鉄道名 (沿線道府県名)